

囁き

よる 知らず
い 集合して
真実に近いもの
切り離された言葉が
胸を刻むたびに
闇は訪れる
ここに 幸福だ
ここを

なら いくら
のぞみ なら
のぞみ なら
かわりに
のぞみ なら
そうよえなかも

つと 悟りは
き 虚しだけ
救いたい人から
希望を奪い去るのみ
それならばただ
偽りの光を
眺める
それが

清水らくは

空耳か

妄想か

のみき
のいたせ
みき
う
た
が
う
だんいし
ほ
う
こころゆずって

果てしない

囁きが

ガリラヤの荒野、

己を掻き抱き唾液と灼けた舌を糾う

半島

「大地はお前によってのろわれ、お前は一生、土から食べ物をとる。大地はお前のためにいばらとあぜみを生やし、お前は野の草を食べるだろう。お前は額に汗を流しながら、パンをえごつこに土へ帰る、お前は土からとられたのだから。」
お前はちりなのだから、ちりへと還る」

Ashes to ashes, dust to dust...

9 無責任

無責任第9巻

責任者 清水らくは 副責任者 半島

連絡先 rdkaha@hotmail.com

発行日 2012年11月10日



Demoniac penguin